



刑部小学校

# 学校だより

発行  
新見市立刑部小学校  
令和7年2月1日  
文責 黒川一豊海



おさかハプログ  
アクセス百六万回突破  
ありがとうございます

## 方谷先生のような立派な大人に！

### ◆演劇「山田方谷物語」を鑑賞

昨年の十二月六日、まなび広場にいみ大ホールで演劇を鑑賞しました。対象は市内の六年生(複式学級の場合は五・六年生)から中学二年生まででしたが、本校は方谷先生の地元であり、四年生で方谷先生の学習を行っていることから、特別に四年生以上の学年が鑑賞することができました。

また、当日は、東京の劇団員に混じり、本校の山形澄彦さん(五年)、吉田桃菜さん(六年)、山形彩穂子さん(六年)が特別出演しました。本番二日前からの舞台稽古でしたが、当日は、堂々とした演技で拍手喝采を浴びました。

この演劇は、方谷先生の偉業はもちろん、改革を進める上での苦難も背景として演出されており、子ども達は、苦しいことに直面しても信念をもって立ち向かうことのすばらしさを感じ取ったことと思います。

弁当を準備いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

### ◆備前市「論語かるた」大会 in 関谷学校で個人・団体入賞

一月十八日(土)、備前市で行われた「論語かるた」大会に、本校から五年生三人(三谷花琉さん、安立莉那さん、高森美羽さん)が出場し、三谷さんが個人戦3位、高森さんが同4位に。団体戦チーム三人の合計札を競うルール)では、安立さんが貢献し3位と、出場した三人全員が表彰されるすばらしい成績をおさめました。

この大会は、日本最古の庶民のための公立学校である関谷学校で学ばれた論語を、「論語かるた」を用いて競技することを通して健全な心を育成することを目指しています。本校は、関谷学校で山田方谷先生が教鞭をとっていたつながりから、昨年に続いての出場となりました。

開会式では、大会長から、遠く離れた新見市から二年連続で参加している本校の選手たちに、感謝とねぎらいのお言葉をいただきました。改めて、方谷先生の教えが備前市と新見市：大佐をつないでくれていると感じました。

今年、保護者の方に送迎をお願いする関係で、出場がかなわなかった児童もいましたが、出場する三人のために、休み時間の練習を手伝ってくれました。そういう意味では、「至誠惻怛」の精神が醸成されてきている、とうれしく思いました。可能ならば、来年も「論語かるた」を通じて、備前市との交流を続けていきたいと思っています。



大会当日の様子

練習の様子

## 善行少年表彰&明るい家庭づくり作文入賞

一月十七日に、新見市青少年健全育成の集いが新見市役所南庁舎で開催され、本校の六年生三人が出席しました。

児童会代表の山川心花さんと矢庭風紗さんは、本校が大佐ふるさと祭りや地区のイベントで源流太鼓を披露したり、ペットボトルキャップの回収でポリオワクチン接種に協力したりしていることが、他の模範となると評価され、「善行少年」新見警察署長賞を受けました。

山中慎太郎は、「お盆の準備」と題し、「先祖様を迎える準備を家族の大切な行事にしていることを書いた作文が、明るい家庭づくり作文六年生の部で最優秀賞に輝きました。また、作文の紹介では、暗記した長文を、大勢の前で堂々と発表することができました。

本校からは、他にも、宮島日葵さん(三年)の「大すきなお母さんとお父さん」、山中裕貴くん(四年)の「ぼくのお兄ちゃん」が学年の優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。

## 令和7年度教育課程の変更について

一月二十七日の参観日、たいへんお世話になりました。授業後の全体会では、来年度、小中一貫教育に向けた準備及び保護者学校評価のご意見をもとに、次の三点について変更することを説明させていただきました。

- ①児童の下校時刻を、毎日15時30分に統一します。
- ②総合的な学習の時間の内容を見直し、小・中のカリキュラムを一貫化します。
- ③参観日の回数を一回減らします。

※十二月の参観日をなくし、市内小学校の参観日回数にそろえます。

## 書き損じハガキ・未使用切手のマ寄付ありがとうございました

ハガキ・切手あわせて、合計一万四千六百二十九円分も集まりました。全額、岡山県視覚障害者協会を通じて、福祉施設の運営や点訳ボランティア育成事業等の活動推進に役立てていただきます。

## 今月の論語

子曰く、  
三人行えば、必ず我が師有り。

【意味】孔子先生がおっしゃった。

三人で行動したら、必ずやそこに自分のお手本になる人を見つけ出すことができる。(よい人を選んでそれを見習い、よくない人の場合には自分自身にもそんな面がありはしないかと反省する。)

自分の周りの人は、誰でも皆、よいお手本です。目標でも憧れでも、自分のなりたい姿が、目の前にあるのは嬉しいことです。